



地域おこし協力隊活動報告



例年、厚岸町の地域おこし協力隊が1年間の活動内容を発表する『地域おこし協力隊活動報告会』を開催していますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、町民の皆さんを招いての報告会は行わず、広報誌掲載での報告とします。

●問い合わせ／ふるさと交流係

シイタケ生産者を目指した活動

かんだ じゅんいち

神田 潤一 さん

出身：北海道斜里町(令和元年 8 月委嘱)

活動拠点：厚岸町きのこ菌床センター



地域おこし協力隊としての活動も2年目を迎え、夏には上尾幌の生産者の元で2度目の研修を経験させていただき、栽培環境の変化でシイタケの品質が変わるさまざまな要因を学びました。

現在は、昨年度の東北地方の研修で学ぶことができた吊棒栽培という方法で、実際に2種類の菌床を使って試験栽培を行っています。吊棒栽培とは、上部にフックがついた棒に菌床を7、8個刺して管理するシイタケの栽培方法で、菌床を移動させる時間が大幅に削減できます。加湿器や空調などのコストを可能な限り抑えた省労力で高品質なシイタケ栽培を目標に取り組んでいます。

また、活動外としては、新型コロナウイルスが流行する前に開催された、冬でも安心して子どもたちが遊べる屋内型キッズパークの『みんなのあそびば』にボランティアスタッフとして参加しました。コロナ禍が収まった後は、地域や町内のイベントに積極的に参加しようと思っています。

吊棒栽培



シイタケ収穫体験



消防団としての活動



桜でまちを盛り上げる活動

どうかい たくじ

百海 琢司 さん

出身：愛知県名古屋市(平成31年 4 月委嘱)

活動拠点：厚岸町観光商工課(子野日公園)



地域おこし協力隊員として2年目となる今年度は、桜の保護育成活動として、桜苗づくりを始めました。一昨年7月に子野日公園内で採取して土の中に埋めて保存していた種子を、昨年3月に育苗箱に播き、春から秋まで育てた結果、町の木であるエゾヤマザクラをはじめ7種類100本以上の苗を育成することができました。これらの苗は、数年かけて大きく育ててから、子野日公園や町の桜の後継樹育成に利用するほか、希望する町民の皆さんにも配布したいと考えています。

その他の桜保護育成活動として、病気の枝や枯枝の除去、シカ害対策、バーク堆肥による根系保護、肥料施肥、桜の健康状態の調査等を行いました。

毎年5月に子野日公園の桜が見事に咲いて、皆さんに喜んでいただけるよう、今後も桜保護育成に励んでいきます。



▲桜の種子採取(7月)



▲果肉を除去した種子(7月)



▲種子播き(3月)



▲発芽(4月)



▲苗生育状況(9月)



▲枯枝剪定(5月)



▲切口保護(5月)